

平成 22 年 10 月 14 日

関係各位

北海道バスケットボール協会
理事長 森野 和泰

平成 22 年度、全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会・北海道予選会
札幌山の手高校女子バスケットボール部の出場について（再提出）

拝啓 秋冷の候ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より当協会活動に対しお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて平成21年度より、全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会（以下「選抜大会」という）の出場資格に新たに付記された事項として、全国高等学校総合体育大会バスケットボール選手権大会（以下「インターハイ」という）優勝・準優勝男女各2チームに全国枠として選抜大会の出場権が与えられることが、(財)日本バスケットボール協会で決定されました。これを受け、北海道バスケットボール協会（以下「道協会」という）として、全国選抜優勝大会・北海道予選会（以下「選抜道予選」という）に全国推薦該当チームが出た場合の参加基準、申し合わせ事項を作成しました。内容については皆様方既に周知されているかと思いますが、下記をご参照ください。

「全国高等学校総合体育大会バスケットボール選手権大会の優勝チームおよび準優勝の男女各2チームに該当するチームは、日本バスケットボール協会より全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会に推薦されることから、北海道予選会に出場しないこととする。」（平成 21 年度より）

本年度札幌山の手高校女子バスケットボール部が沖縄インターハイ優勝という快挙を成し遂げ、山の手高校は全国推薦枠での出場となり、本道より女子代表2チームが選抜大会に出場できることになり関係者にとって大変嬉しい結果となりました。その後、山の手高校優勝に関する情報交換、喜びを分かち合うなか選抜道予選出場についても関係各位、報道関係、バスケットボールファンそして当該チームの意見、意向をお聞きする機会があり、それら関係する要望等が数多く寄せられました。

道予選の出場に関する申し合わせ事項に記載されている文尾にあります、「北海道予選会に出場しないこととする」については 全国推薦の優位性という見地から措置したものであり、チームが道予選に出場によりもたらされる総合的なメリットという視点に立って考えられていない部分があり、再考しなければならないものとの結論に達し反省している次第です。

競技を支えていただいているバスケットボールファンの皆様に試合を見ていただく事、競技力強化・普及など協会としての目的、そして第一に考えなければならない当該チームに対しての配慮に著しく欠けている内容であったことを重ねて陳謝申し上げます。皆様からいただいている山の手高校の全国優勝への反響、賛辞など最大限考慮するとともに、全国最高峰のプレーを見ていただくことが正に協会としての大きな使命であり、即ちバスケットボール競技の振興に大きく貢献するものであり、これらを踏まえこの度「第41回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会北海道予選会」に札幌山の手高校女子バスケットボール部の出場を総合的判断し決定させて頂きましたことをご連絡申し上げます。尚、出場枠は特別推薦とし代表に決定したチームとの決勝戦のみとし、あわせて代表2チームの競技力向上に繋がるゲームになることを大いに期待いたします。本決定まで時間を要したことにより関係各位に対し混乱とご心配をお掛けしました事を深くお詫びいたすと共に、今後ますますバスケットボール競技への普及発展に対しご理解・ご協力をお願い申し上げます。

敬具